

1. 自己復元(解凍)プログラムの仕様は

(回答)

製品により異なります。「製品のお問い合わせ」の「Arcmanager型格一覧表」を参照願います。評価用にお貸し出ししていますので、事前に確認をお願いします。

2. 自己復元(解凍)後に指定したプログラムを起動できますか

(回答)

自己復元(解凍)書庫は、書庫内のファイルをすべて復元する機能しかありません。BATCHファイル(拡張子.BAT)を使用して、書庫内のファイルを復元した後、プログラムを起動する方法をお勧めします。

例:

c:

```
cd c:¥sample echo c:¥sample ディレクトリに書庫をコピーします
```

```
copy a:¥sample.exe
```

```
echo sample.exeを復元します
```

```
sample.exe echo 復元した
```

```
wsample.exe を起動します wsample.exe
```

```
wsample.exe
```

3. 自己復元(解凍)プログラムのサイズは

(回答)

現時点では約24KB(32ビット書庫)です。

自己復元(解凍)プログラムは、MS-DOSプログラムです。

今後、変更になる可能性があります。

4. VB.NETで使用できますか

(回答)

Arcmanager DLL for Windowsは、VB.NET でもWindows APIと同様の方法で呼出しができます。

ただし、VB利用のためにパッケージに添付しておりますモジュール定義ファイルやサンプルプログラムは、Visual Basic 6.0用です。これらのファイルは、Visual Studio.NET のアップグレードウィザードを利用することでVisual Studio.NET用に置き換えることができます。

5. 自己復元(解凍)プログラムで復元先ディレクトリを指定できますか

(回答)

できません。ただし、一部可能な製品(MSS5042)もあります。評価用にお貸し出ししていますので、事前に確認をお願いします。

6. GUI製品の開くで復元先ディレクトリのデフォルトを変更できますか

(回答)

できます。

[スタートメニュー]-[プログラム]-[Arcmanager]内のArcmanagerへのショートカットのプロパティ(マウスの右クリック)を表示させ、作業フォルダを変更してください。

7. パスワードは大文字小文字の区別がありますか

(回答)

英字のパスワードの仕様はWindows GUI製品、Solaris Console製品は大文字小文字を

区別しません。Windows Console製品、DLL製品、Solaris SO製品は大文字小文字を区別します。

8. 扱えるファイルサイズの制限はありますか

(回答)

あります。2,147,483,647バイトです。

全ファイルの合計値の制限になります。

1ファイル単位の場合はESLCまたはRELC製品を推奨します。

フォルダ単位で、より大きなサイズを対象とされる方は、ご相談に応じますので、メールで、ご連絡願います。

9. 一度に圧縮できる(一つの書庫に収められる)ファイルの数に制限はありますか

(回答)

65,000です。

フォルダ(ディレクトリ)とファイルを合計した数になります。より大きな数を対象とされる方は、ご相談に応じますので、メールで、ご連絡願います。

10. 圧縮率は

(回答)

データの種類や内容により異なります。データの出現頻度が均一で偏りが無い場合は圧縮できない場合があります。アーカイバとしてのヘッダー情報もありますので、元のサイズより大きくなる場合もあります。また、ファイルの時間情報も圧縮するため同じサイズのデータでも圧縮後の書庫ファイルサイズが異なることがあります。

11. Console製品のエラー番号一覧は

(回答)

Console製品はプログラム呼び出しでも使用できます。終了時がエラーとなった場合、その番号を取得できます。

詳細はマニュアルをご覧ください。

12. LHA/Zipとの互換性は

(回答)

圧縮アルゴリズムが異なるためLHA/Zipとの互換性はありません。

13. DLL製品で圧縮時に進捗を表示をしない方法は

(回答)

DLL製品で圧縮時に進捗表示をしない方法は画面表示しない指定も可能です。

詳細はマニュアルをご覧ください。

14. 自己復元(解凍)プログラムでディスク上に存在しないファイルを復元したにもかかわらず上書き確認の問い合わせがあります

(回答)

ファイル名に~が付いているファイルが書庫に含まれる場合は、上書き確認の問い合わせがある場合があります。Win32環境(Windows95以降)では、扱うファイル名が8+3文字(MS-DOS互換の形式)以外の場合にロングファイル名として扱われますが、ロングファイル名に対応していないアプリケーションとの互換性のために8+3形式のファイル名(Win32環境では、ショートファイル名)も同時に生成されます。ショートファイル名は、ロングファイル名を切り取り~+数値で生成されます。

15. タイムスタンプが秒単位で異なる場合があります

(回答)

書庫ファイルに記録できる時間は、1970年1月1日0時0分0秒(UTC)を基準として経過秒数を表した32ビットの値です。記録や設定ができない時間を扱う時は、1980年1月1日0時0分0秒(UTC)とします。次の場合に、ディスク上のタイムスタンプや書庫内に記録されているタイムスタンプと違う値が設定される事があります。

(1) 1980年1月1日0時0分0秒(UTC)以前のタイムスタンプを持つファイルを扱う場合は、1980年1月1日0時0分0秒(UTC)として扱います。

(2) GUI製品および旧DLL製品(V04L11)は、異なるファイルシステム間でファイルをコピーした時にタイムスタンプがずれる場合があります。(NTFS→FAT間の場合)書庫ファイル内でタイムスタンプが奇数秒になっているファイルをFATファイルシステムへ復元した場合は、1秒切り上げられます。ただし、新DLL製品(V05L01以降)およびConsole製品は切り上げられることはありません。

16. うるう年およびうるう秒の問題はありますか

(回答)

とくに問題ありません。

17. マルチスレッドには対応していますか

(回答)

マルチスレッドには対応していません。呼び出す側で排他制御を行ってください。必須な場合は、ご相談に応じますので、メールで、ご連絡願います。

18. 電子署名に対応していますか

(回答)

電子署名には対応していません。

作成した書庫ファイルや自己復元(解凍)ファイルに電子署名を付与しないでください。

19. 空のディレクトリが復元されません

(回答)

空ディレクトリ復元処理は、同名のディレクトリまたはファイルの存在を検出すると空ディレクトリ復元処理を中断しています。復元先のディレクトリを空の状態にしてください。

20. 64ビット環境で動作しますか

(回答)

32ビット環境および64ビット環境への適合情報(別ファイル)を参照願います。

21. Linux環境で動作しますか

(回答)

ご相談に応じますので、メールで、ご連絡願います。

22. Java呼び出しはできますか

(回答)

DLL製品、SO製品は、そのままではできません。

Console(EXEなどの実行形式)製品を使用願います。